

# Market Watching

発表日:2019年4月22日(月)

## 中国底入れ期待で市場の雰囲気も持ち直し(マーケットウィークリー)

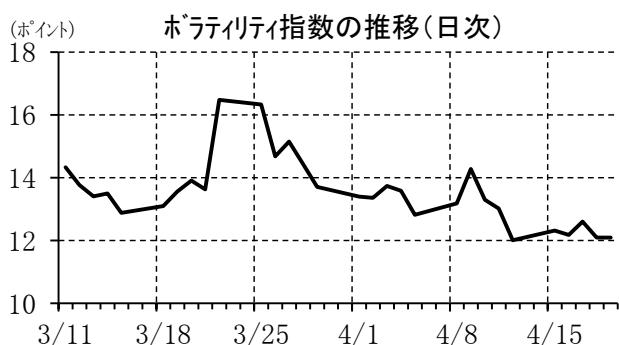
～日本では10連休前に余計なリスクは落とす圧力も～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL:03-5221-4521)

### 【先週の市場動向】

#### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
4月15日(月)	米国: NY連銀製造業景気指数 (4月)	+10.1	+6.7	+4.0	
4月16日(火)	米国: 鉱工業生産指数 (3月)	▲0.1%	+0.3%	0.0%	前月比
4月17日(水)	日本: 貿易統計 (3月) ・ 輸出	▲2.4%	▲2.6%	▲1.2%	前年比
	・ 輸入	+1.1%	+3.3%	▲6.6%	前年比
	・ 貿易収支	+5,285	+3,677	+3,349	億円
	中国: 実質GDP (1-3月)	+6.4%	+6.3%	+6.4%	前年比
	中国: 鉱工業生産 (3月)	+8.5%	+6.0%	+5.7%	前年比
	中国: 小売売上高 (3月)	+8.7%	+8.4%	+8.2%	前年比
	中国: 固定資産投資 (3月)	+6.3%	+6.3%	+6.1%	年初来前年比
	英国: 消費者物価指数 (3月)	+1.9%	+2.0%	+1.9%	前年比
4月18日(木)	米国: 貿易収支 (2月)	▲494	▲535	▲511	億ドル
4月18日(木)	ユーロ: PMI製造業景気指数 (4月)	+47.8	48.0	47.5	ポイント
	米国: フィラデルフィア連銀製造業景況感指数 (4月)	+8.5	+10.0	+13.7	ポイント
	米国: 小売売上高 (3月) ・ 全体	+1.6%	+0.9%	▲0.2%	前月比
4月19日(金)	日本: 全国消費者物価指数 (3月) ・ 総合	+0.5%	+0.5%	+0.2%	前年比
	・ 除生鮮食品	+0.8%	+0.7%	+0.7%	前年比
	米国: 住宅着工件数 (3月)	113.9	123.4	116.2	万件
4月20日(土)	—				
4月21日(日)	—				



## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	2.596	+3.1	▲8.8	▲4.7	2.345	2.463	2.634
日本	-0.030	+1.5	+1.0	▲7.0	-0.054	-0.027	0.047
ドイツ	0.025	▲3.0	▲7.2	▲57.5	0.009	0.108	0.275
豪州	1.950	+6.7	+1.7	▲83.3	1.874	2.071	2.401
株価							
NYダウ	26559.54	+0.6	+2.6	+7.7	26101	25469	25314
日経平均	22200.56	+1.5	+2.9	+0.0	21683	21189	21836
ユーロSTOXX50	3499.23	+1.5	+2.6	+0.4	3405	3268	3270
上海総合	3270.80	+2.6	+5.8	+4.9	3160	2880	2753
為替相場							
ドル/円	111.93	▲0.1	+0.5	+4.2	111.27	110.53	111.52
ユーロ/円	125.80	▲0.6	▲0.5	▲5.1	125.41	125.26	127.55
豪ドル/円	80.04	▲0.3	+1.4	▲3.6	79.25	78.83	80.16
ユーロ/ドル	1.1243	▲0.5	▲1.0	▲8.9	1.127	1.133	1.144
商品市況							
WTI	64.00	+0.2	+8.4	▲6.3	61.92	56.93	60.70
金	1271.9	▲1.4	▲2.6	▲5.6	1295	1301	1251

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (4/15~4/19) の金融市場は、景気に対する楽観的な見方が継続し、全般的に株高・金利上昇となった。注目された中国の経済指標が市場予想並みかそれ以上の結果となったことで、あらためて同国の景気対策の効果が出始め、景気が底入れしつつあるとの期待が高まった。

今週のマーケットは、目立ったイベントや経済指標の発表は週末までなく、市場は中国景気の持ち直しとそれに伴う世界的な景気回復期待に包み込まれたなかで、底堅い推移が期待される。株式市場では決算発表が本格化するなかで、個別中心の展開となるが、仮に期待を下回る決算結果となったとしても、景気持ち直しに対する期待感が醸成されつつあるなかでは、影響は限定的か。米国ではトランプ大統領のロシア疑惑、日本では消費増税の有無など政治面での不透明材料は相変わらずだが、大きく市場を揺るがすようなインパクトのあるものとは言い難い (消費増税延期となれば話は変わってくるが、そうした決定が週内に行われるとは考えにくい)。日本では10連直前ということもあり、様々なマーケットでポジションを調整するような圧力も強いと考えられ、テクニカルな動きには要注意。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
4月22日(月)	米国：中古住宅販売件数(3月)	★	529	551	万件
4月23日(火)	米国：新築住宅販売件数(3月)	★	64.5	66.7	万件
4月24日(水)	ドイツ：ifo景気動向指数(4月) カナダ：金融政策委員会	★	99.9 1.75%	99.6 1.75%	翌日物貸出金利
4月25日(木)	日本：日銀金融政策決定会合・政策金利 ・10年債利回り操作目標 ・黒田総裁記者会見 インドネシア：金融政策決定会合 スウェーデン：金融政策委員会 トルコ：金融政策委員会 米国：製造業受注(3月)・耐久財 ・非国防資本財(除航空機)	★★★★ ★ ★ ★ ★	▲0.10% 0.00% 6.00% ▲0.25% 24.00% +0.5% +0.1%	▲0.10% 0.00% 6.00% ▲0.25% 24.00% ▲1.6% ▲0.1%	日銀当座預金残高金利 10年物国債利回り 7日物リバースレボ金利 レボ金利 1週間物レボ金利 前月比 前月比
4月26日(金)	日本：都区部消費者物価指数(4月)・総合 ・除生鮮食品 日本：労働力調査・失業率(3月) 日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率(3月) 日本：商業販売統計・小売業販売額(3月) 日本：鉱工業生産指数(3月) 日本：住宅着工戸数(3月) 米国：実質GDP速報値(1-3月期)	★ ★ ★ ★★★★ ★ ★★★★	+1.1% +1.1% 2.4% 1.63倍 +0.8% +0.1% 95.1 +1.8%	+0.9% +1.1% 2.3% 1.63倍 +0.6% +0.7% 96.7 +2.2%	前年比 前年比 前年比 前月比 万戸 前期比年率
4月27日(土)	—				
4月28日(日)	—				

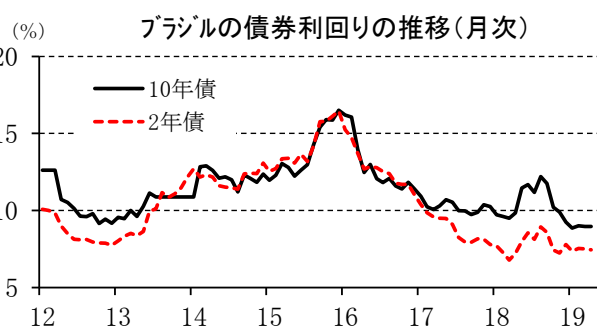
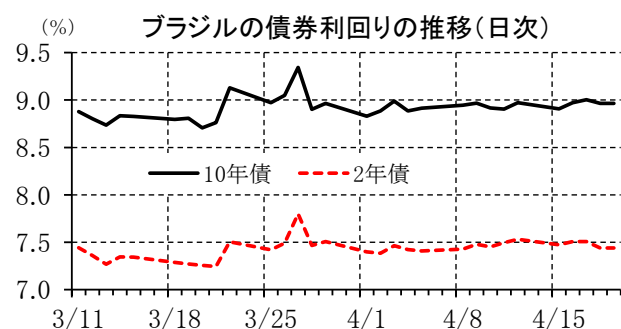
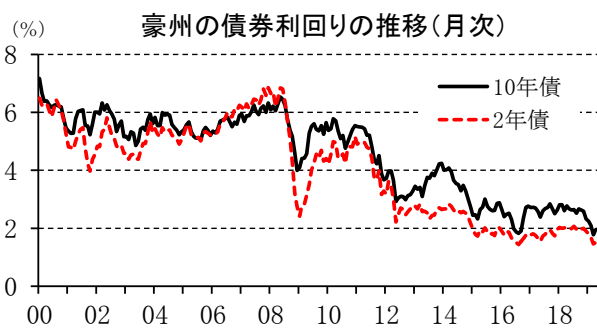
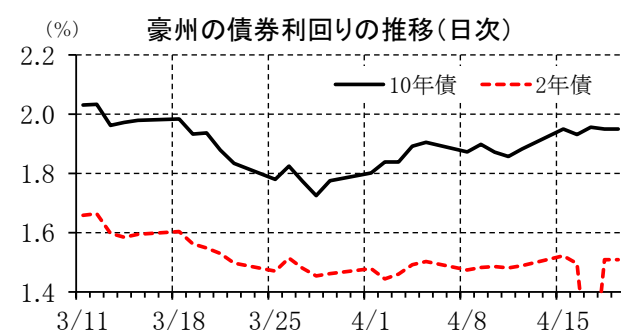
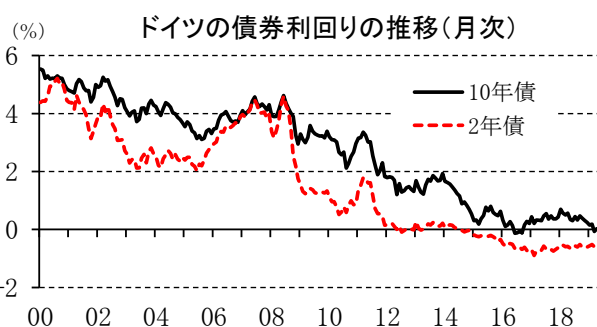
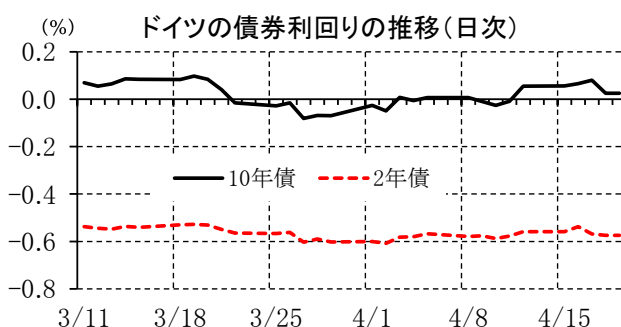
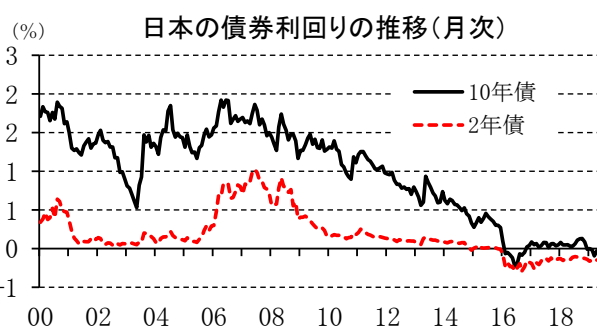
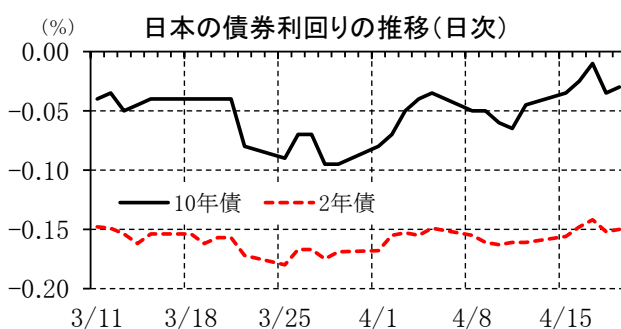
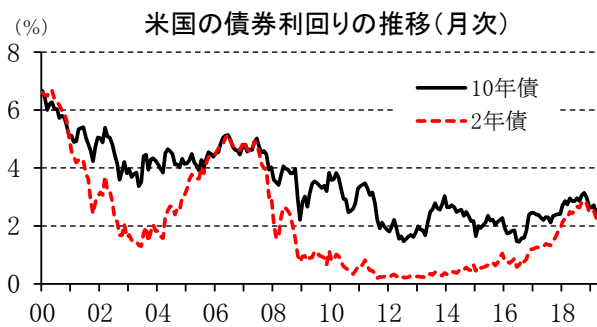
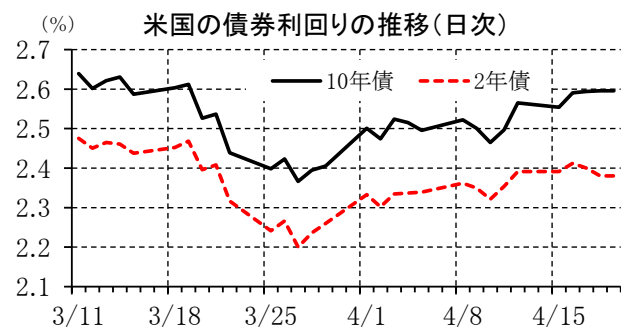
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

## その他の注目イベント・材料

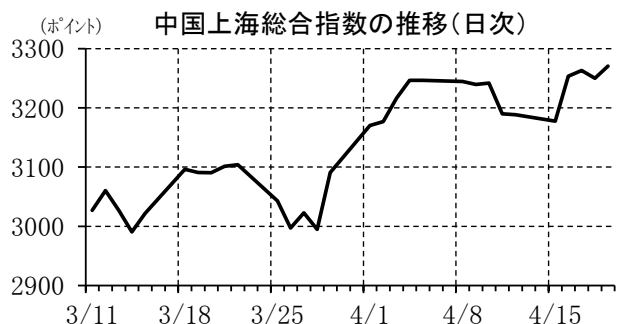
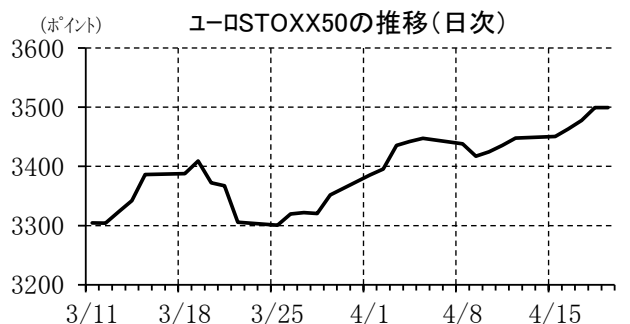
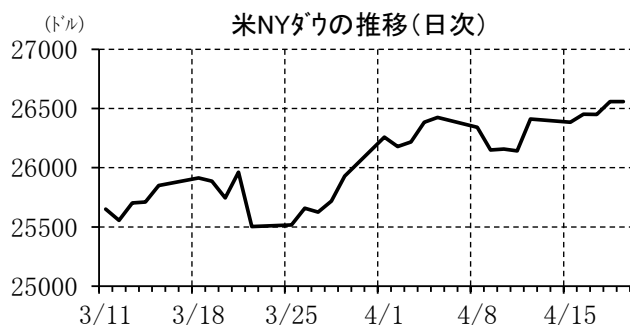
発表日	イベント	注目度	備考
4月22日(月)	欧州市場など休場		
4月23日(火)	—		
4月24日(水)	ユーロ：ECB月報		
4月25日(木)	日本：日銀展望レポート 中国：一带一路フォーラム(～4/27) 日・EU首脳会議	★ ★ ★	
4月26日(金)	プーチン露大統領訪中(～4/27)	★	
4月27日(土)	—		
4月28日(日)	スペイン：総選挙	★	

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

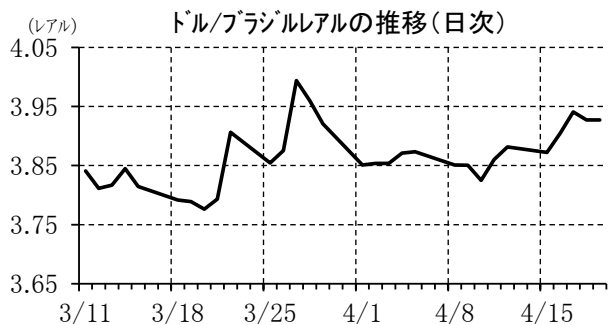
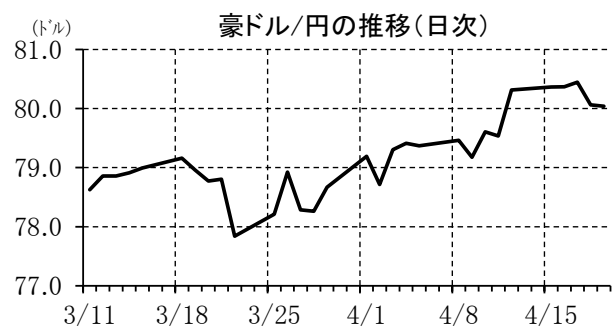
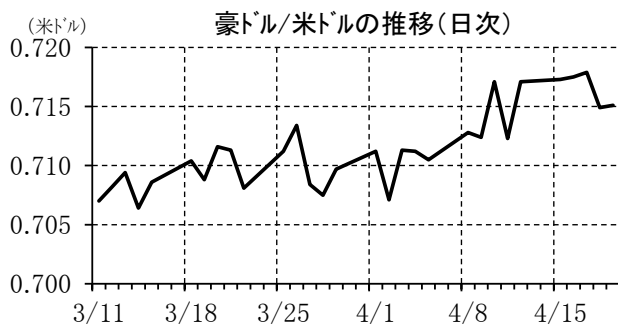
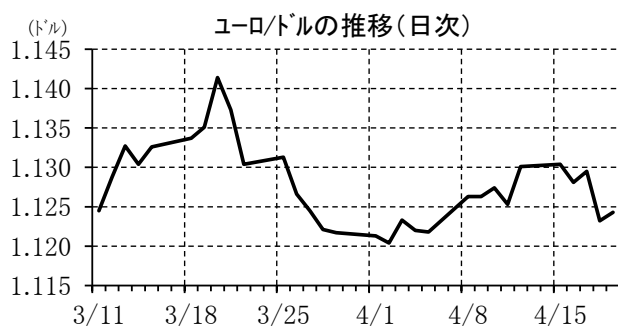
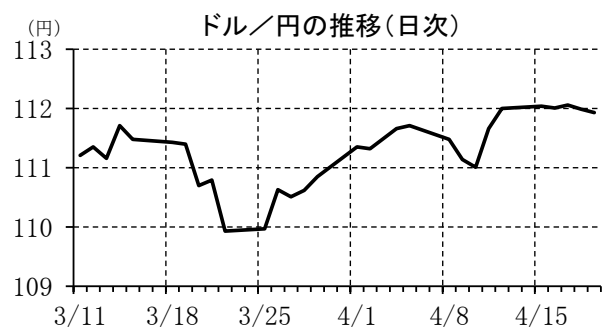
## 【債券利回り】



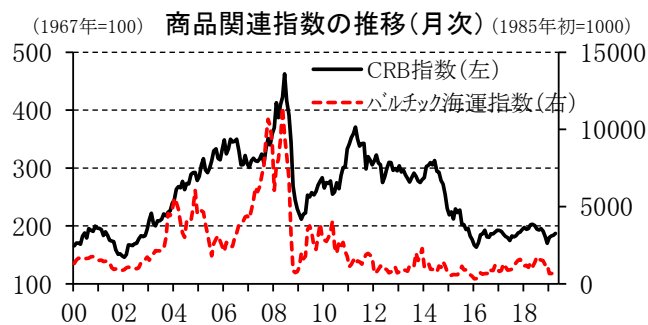
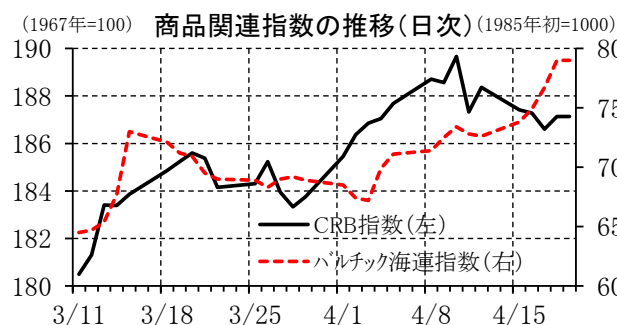
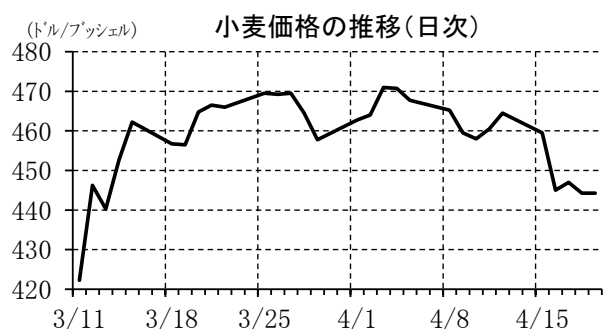
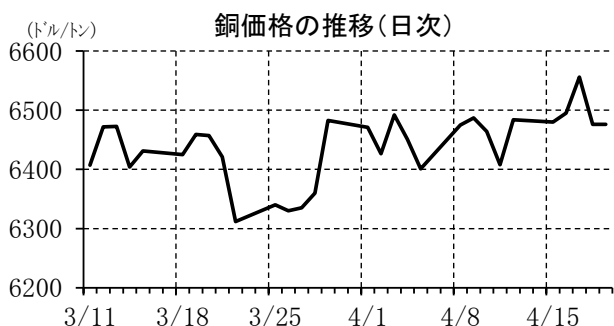
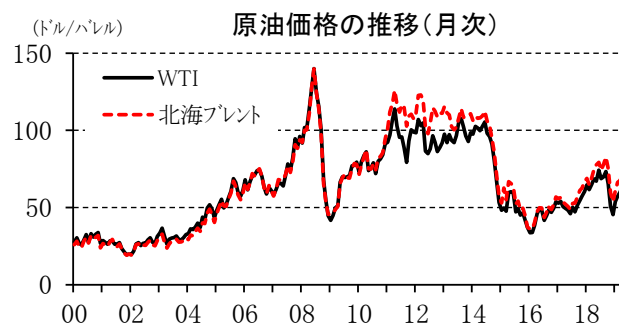
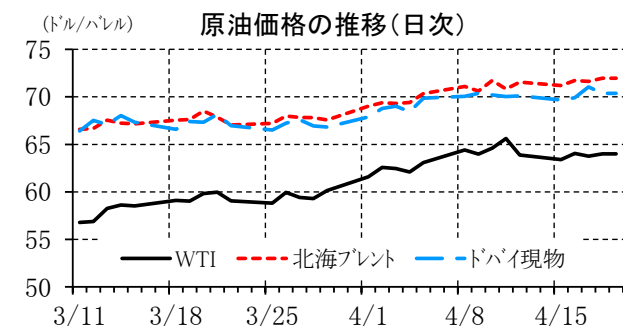
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。